

1 情勢報告

ユズの植え付けの講習会の開催



講習会

4月4日、JA津野山「輝」で、ユズの植え付け講習会が行われました。今年で5回目となる講習会には、初めて植える1名を含む15名の参加がありました。

会では、JAの営農指導員から植え付けについての説明が行われ、振興センターからは、補足説明と植え付けにあたっての苗の取り扱い方の注意点を説明しました。

4年前に新植したユズの出荷が去年始まっており、今後、増加することが見込まれます。

今後もJAと協力しながらユズの振興を進めていきます。

J A津野山園芸部総会の開催



全体会



分科会（ナス部会）



分科会（ミョウガ部会）

3月30日、J A津野山「輝」で、J A津野山園芸部（ナス部会・ミョウガ部会・シシトウ部会）の平成23年度総会が開催されました。

会は、3部会合同の全体会と、各部会に分かれた分科会の二構成で行われました。全体会では、園芸連から市況報告について、また、営農課から高知県J A 1グループ構想について、部会員へ情報の共有がなされました。

分科会では、営農課、振興センターから、24年度に向けての栽培講習会が開かれました。

ナス部会では、高品質安定生産に向けて、定植時の苗の確認、初期管理の注意点の説明と、p Fメーターを用いた灌水管理と在来天敵導入によるI P M技術について提案しました。

ミョウガ部会では、秀品率の向上と収量増加に向けて、ミョウガの生育ステージや日射量に合わせた灌水管理について提案しました。

シシトウ部会では、土佐甘とうの誘引方法について、雨よけハウスでの新たな天敵利用について等を提案しました。

振興センターでは今後も、J Aと連携し、津野山地域の園芸農業発展のための支援を行っていきます。

大野見産米エコ研究会のブランド化検討会



検討会

中土佐町大野見地区では、大野見産米のブランド化に向け栽培や販売方法の研究に取り組んでいます。

4月4日、農家や関係機関が集まり、ブランド化に向けた取り組み方針や栽培方法について検討されました。

振興センターからはブランド米に取り組む先進事例を紹介し、ブランド米産地に求められる事柄を説明しました。

また、品質を統一するため、栽培技術について協議し、栽培ルールを決めて取り組んでいくことが決まりました。

振興センターは、今後も実証ほの設置や現地検討会の開催などにより、大野見産米の振興を支援していきます。

J A土佐くろしおミョウガ部会目慣らし会の開催



目慣らし会

4月中旬から下旬にかけて、J A土佐くろしおミョウガ部会の目慣らし会が大間地区、浦ノ内地区、上ノ加江地区の3カ所で計15回開催されています。

J A販売課担当者から販売状況の報告があり、実際の出荷品を見ながら、出荷規格についての目慣らし、意見交換が行われました。

振興センターからは昨年多発して問題となった「水やけ症」についての情報提供と、対策について提案を行いました。

今後振興センターでは、試験研究機関と連携して「水やけ症」の原因究明と対策の確立を図っていきます。

芳生野営農生産組合で米ナスの定植



定植作業

3月31日に、芳生野営農生産組合が米ナスの定植を行いました。

朝早くから組合員13名が参加したおかげで、2カ所（芳生野奈路、芳生野保井川）計29a分の定植を午前中にすませることができました。これからは栽培担当者2名を組合員みんなで支えて米ナス栽培に取り組めます。

今後振興センターでは、米ナスの技術定着、また協業による園芸品目の経営安定を推進していきます。